

エコシステム拠点 構築における 名古屋大学の役割



OICX of Nagoya University

名古屋大学オープンイノベーション拠点



名古屋大学は、東海地区の大学・研究機関のハブとなり、イノベーション人材の教育・育成、大学発スタートアップの創出、企業等への研究シーズの提供する役割を担います。

具体的には、Tongaliプロジェクトを基盤として、実践的なトレーニング等（プロトタイプ制作やビジネスモデルの構築、ピッチコンテストなどを含む）を開催し、イノベーションのキードライバーである優秀な人材を輩出し、新たなアイデアの発展を促進します。

加えて、大学の基礎研究の集積から生まれる研究シーズの情報発信や企業とのマッチングを実施し、ディープテックを活かしたオープンイノベーションを推進します。

また、今後アントレプレナーシップ教育対象の拡大に取り組みます。

東海地区の 大学連合 の 具体的な目標

1. 教育プログラムを拡充し、次世代型イノベーション人材を輩出

Tongali 参画大学の拡大

Tongali の受講者 10,000人/年間

Tongali 発の学生起業家 100人/5年間



2. 研究成果を基にした大学発スタートアップの起業支援プログラムの拡大

大学発スタートアップ 100社/5年間

大学発スタートアップ資金調達額 500億円/5年間

大学発スタートアップ IPO 5社/5年間



3. 自治体と協力して、小中高校生に向けたアントレプレナーシップ教育を提供

